

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第17回研修を開催しました！」

第17回の研修は、令和5年10月13日(金)、14日(土)に雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、株式会社みちのくクボタサービス推進部、越副部長様を外部講師としてお招きして、農作業安全とトラクタ及び管理機の安全操作について学びました。

講義では、農作業事故の発生件数の推移、トラクタ等の操作の留意点について御説明いただきました。「農作業事故は労働力の減少・喪失となり、事業継続や地域農業へのダメージに繋がる。」との講師からの言葉に、受講生はより安全作業への意識が高まったのではないのでしょうか。

実習では、冒頭にトラクタの日常点検方法についての説明の後、燃料・オイル・水の残量と漏れが無いかを確認しました。その後、受講生は2班に分かれて、トラクタと管理機を操作しました。

初めて操作する受講生が多く、変速やロータリーの上げ下げなどのレバー操作に戸惑う場面もありましたが、安全には場での走行・耕運操作を行うことができました。

また、管理機操作では、旋回動作について、「管理機の動きを力で制御するのではなく、動きに合わせて自ら動くように。」と指導員よりアドバイスがありました。

研修の最後には、さつまいも、にんじん、かぶ、キャベツの収穫作業を行いました。栽培野菜の収穫も、残り3品目となり、ほ場を見ると達成感と共に少し寂しさもありますが、作物に感謝をしながら最後まで作業をしていきたいと感じました。

次回の研修は、10月20日(金)、21日(土)に、コテージむらで「農具・農機具の手入れ」「野菜の防寒対策」についての講義と、実習では、「栽培野菜の収穫、後片付け」を行う予定です。



越氏よりトラクタの操作説明を受ける受講生



トラクタで耕運作業を行う受講生



管理機で耕運作業を行う受講生



さつまいもを収穫する受講生